

第5回アドバイザーボード 議事概要

1. 日 時 令和7年7月15日（火） 10:00～12:00

2. 場 所 ホテルルポール麹町 マーブル（東京都千代田区平河町 2-4-3）

3. 議 事

- (1) 開会
- (2) 挨拶（理事長）
- (3) 意見交換
- (4) 閉会

4. 出席者

(1) アドバイザー

石村 和彦	産業技術総合研究所 理事長
小安 重夫	量子科学技術研究開発機構 理事長
永田 恭介	筑波大学長
原山 優子	東北大学名誉教授

(2) F-REI

山崎理事長、江村理事、高谷理事、野口執行役、大和田執行役、
村田広域連携監、森下監事、中西監事、野波分野長、佐々木分野長、
片岡分野長、秋田副分野長、絹谷副分野長、山下副分野長、
茅野副分野長 ほか

5. 内 容

- ・産業技術総合研究所における社会実装の取組について、石村アドバイザーからご講演いただいたのち、F-REI の産業化の取組をご説明し、アドバイザーからご意見をいただいた。

（アドバイザーの主な意見）

- 産業化という言葉だけで軸を作ってしまうと、本来やるべきことが見えなくなってしまう可能性もあるので、プロデュースという要素が大事であり、これを埋め込んで地域に還元する必要もある。
- 座談会等、福島の各地に行って地域の悩みを聞いて、F-REI の持つ能力でファンダメンタルにこの地域のニーズを受け止める取組はよい。
- F-REI には既に良いガバナンスがあると思うので、やりたい研究をやるのではなく、必要な研究に変えられるような仕組みを持っているかという点が大事になってくる。
- 研究者と技術者が力を出すためには、1 つの大きなプロジェクトを立てて、それを完遂するというところに目標を合わせるのがとても大事。

（以上）